



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

国際会長主題	「私たちの未来は、今日より始まる」(Our Future Begins Today)	Joan Wilson (カナダ)
アジア会長主題	「ワイズ運動を尊重しよう」(Respect Y's Movement)	Tung Ming Hsiao (台湾)
東日本区理事主題	「明日にむかって、今日動こう」	利根川恵子 (川越)
東新部部長主題	「今チャレンジ、明日に向かってワクワク東新部」	細川 剛 (東京)
クラブ会長主題	「いつも青春、今できることをやろう」	岩崎 弘 (東京世田谷)

Stay young in mind, act now

2016年12月会報

強調テーマ

* EMC/MC *

会長 岩崎 弘
副会長 寺門 文雄
書記 張替 滋夫

会計 小原 武夫
直前会長 太田 勝人
担当主事 山梨 雄一

↑今月の聖句

今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。

This very day in Davids town yours Savior was born- Christ the Lord !

新約聖書 ルカによる福音書 2章 11節
(小川 選)

<第1部クリスマス礼拝>

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 司式 | (経堂緑岡教会) 増田 琴 牧師 |
| 司会 | 小川 圭一 君 |
| 1. 前奏 | 武藤 栄子さん |
| 2. 讃美歌 111番「神の御子は」 | 一 同 |
| 3. 祈禱 | 司会者 |
| 4. 聖書 ルカによる福音書 2章 1~20節 | 司会者 |
| 5. 説教「希望の灯をともしよう」 | 増田 琴 牧師 |
| 6. 祈禱 | 増田 琴 牧師 |
| 7. 讃美歌 112番「もろびとこぞりて」 | 一 同 |
| 8. 祝禱 | 増田 琴 牧師 |
| 9. 後奏 | 武藤 栄子さん |

<第2部：クリスマス祝会>

- | | |
|-------------------|---------|
| 司会 | 峰 毅 君 |
| 1. 開会点鐘 | 岩崎 弘 会長 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一 同 |
| 3. ゲストとビジター紹介 | 岩崎 弘 会長 |
| 4. 食前の祈り | 富田 鈺次さん |
| 5. 会食 | |
| 6. プレゼント交換とオークション | |

※ 12月例会プログラム

とき 12月16日(金) 18:30~20:30
ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F
電話 03-3420-5361

11月のデータ	会員在籍	11名	例会出席者	11 / 18	11月のBF 切手 0g 現金 0円 累計切手 0g	ニコニコファンド 11月 8,000円 年度計 51,859円
	出席率	73%	会員 7名 メネット 1名 メイキャップ 1名 ゲスト 6名 ビジター 6名	合計		
	第2例会 11/25日(金) (7名出席)		すずらん会参加者 11/25日(金)		東京世田谷ワイズメンズクラブは 2016年10月31日 社団法人日本 キリスト教海外医療協力会に年会費 10,000円を納入し継続しました。	JOCS累計 使用済み切手と併せて 円 注: JOCS 献金記録の掲載 すずらん会やコミュニティーコ ンサートではかねてよりJOCSへ の応援を行っている。 使用済み切手とワンコインの 献金など。
	岩崎、太田、小川、小原、 川嶋、寺門、張替、		ゲスト 44名 スタッフ 10名 合計 54名			

- 7. ハッピーバースデー： 会員では該当者なし
- 8. 諸報告
- 9. 閉会点鐘 岩崎 弘 会長

※ 本日のメインプログラム

今月は1部、2部に分かれての楽しい例会になります。

1部では昨年もお話しをして頂いた経堂緑岡教会の増田牧師にお出で頂いてのクリスマス礼拝。

2部の祝会ではおなじみのアルマムジカ合唱団、プレゼント交換(1,000円以内)、オークションが企画されておりますのでお楽しみに。

※ 第1例会報告

今月は特定非営利活動法人ジェン(JEN)代表理事の木山啓子氏に「誰かのためなら人は頑張れる—国際自立支援の現場で見つけた生き方」と題して日本の国際難民支援のパイオニアとしての貴重な実体験をうかがった。



a. 何故国際難民支援に携わるようになったのか、

b. 難民支援活動の現場の実態とはどんなものなのか、そしてYMCA/ワイ

ズに期待するものはなにかを、幼少期からの個人的体験にはじまり平凡なキャリアウーマン時代から一念奮起アメリカNYへの留学、そしてJENの母体となった国際難民支援混成チームへの参画、結果20数年、24の国々と地域での難民支援活動の体験に至るまで、たんと、何事も天命であるがごとくに静かな情熱をもって語っていただいた。たんととした語り口と映し出されるリアルなシリアのキャンプ各所の映像とのインパクトの差の大きさに語られぬ現場での仕事の困難さをおもった。卓話者ご自身は前向きの動機を語られなかったが、ここまでの実績を積まれた裏には、キャリアパスの時々においての、いわばCALLINGとでも言える天からの呼び掛けに素直に応答されてきた卓話者の卓越した資質があったに違いない。

難民支援の要諦は。卓話のタイトルにある、誰かのためなら、という他者性、また、単なる支援ではない、自立のための支援、というところにあるとおもう。そしてそれはまさしくYMCA活動の根本精神に通底するもの。その意味で、今回ただ一人ではあったがフレッシュなリーダー吉野涼香さんが参加していただけたことは大きな意義をもつものとおもう。当夜も恒例のホクホク十勝じゃがいもポトフと小原さん提供のボジョレー・ヌボーにみな大満足。

出席者は世田谷メンバー7名 ビジター、東京・たんぼぼ、むかで、八王子クラブ6名及びゲスト6名で計21名でした。(張替 記)

参加者から一言

吉野 涼香さん(なっぷるリーダー)

今回は難民支援に関するお話を伺いました。難民の生活の悲惨さは報道されていますが、その場限りの緊急的な支援だけでなく、報道されにくい難民の未来やこれからの生活を意識した自立した生活を可能にすることに焦点を当てた支援の重要性に気づかされました。

このお話を聞いて、自分には何が出来るかを改めて考えました。まずは報道された難民の状態を忘れないように常に心に留めること。報道されていない現状にも目を向けること。そして実際に自分のできる範囲でのボランティア活動などに積極的に参加すること。

YMCAに入っていることでできることも多くあると思います。このようなお話を伺う機会を得られたことも同時に感謝しこれからもYMCAの一員として自分が出来ることを積極的に探し行動していきたいと思えます。

※ 第2例会報告

日時：11月15日(金) 16:00~17:00

場所：YMCA南コミュニティーセンター3階会議室

出席者：岩崎、太田、小川、小原、川嶋、寺門、張替 村野(陪席)、

例会に先立ち、直前におこなわれたすずらん会を参考見学された西東京コミュニティーセンターの歌の会スタッフの酢屋さんはじめ5名の方々と小川さんを中心に世田谷のメンバーとの運営問題や楽曲著作権の扱い等についての積極的な意見交換がなされた。

役員会打合せ事項

1. 12月度ブリテン：内容、原稿締切、締切日決め
2. 報告事項
 - ① 11/5(土) 東日本区第2回役員会開催 太田さん出席、目黒クラブ解散議案を上程
 - ② 11/9(水) 東新部役員会 11/12(土) 東新部第2回評議会に於いて 東京目黒クラブ解散を承認。
 - ③ 11/24(木) YMCA国際委員会開催 太田さん一時刻より「EMCシンポジウム」開催の件につき、あずさ部、関東東部部長と打ち合わせ—17年2月18日山手センターにて開催を予定
 - ④ 11/26(土) YMCAソシアスフォーラム—山手センターにて開催、世田谷より4名参加
3. 協議事項
 - ① 村野繁ワイズの転入会承認および入会式 17年1月実施に決定
 - ② YMCAすずらん会余剰金伴奏者謝礼等を除きクラブ会計に入金、ファンドとしてプール、2階ロッカーキャビネットの新調他すずらん会15周年記念イベント費用 etc に充当、将来センター使用料の嵩上げも検討したい
 - ③ 17年3月の東京西クラブとの合同例会の卓話者寺門さんを介して松井直樹さんに正式に依頼する
 - ④ 来期役員体制の件 太田さんの提案をベースに検討、下記に決定 会長 寺門、副会長 松井、書記 太田、会計 小原、

尚 会長任期については健康上の配慮も必要との議論もなされた。(張替 記)

★ 東日本区第2回役員会に参加して

11/5 (土) 10:30-17:00、YMCA 同盟にて開催された区第2回役員会に国際・交流事業主任として出席し活動報告をして参りました。以下主な点をご報告いたします。

利根川理事発言の主な点：

- ① 会員数は7/1で903名が、10/31で930名となった。東新部の「東京多摩みなみクラブ」の誕生が貢献している。
- ② 7つの部の「部会」が全て終わり、夫々特色を活かした部会であった。この活力を後期 EMC 拡大に繋げて1,000名目標の達成を目指そう！
- ③ 東日本区定款の改訂、一辻ワイズ改訂委員長が皆さんからの提言をまとめ、それに対して専門委員会としての見解を説明、補足した。
 - * 東日本区20周年記念事業の実施、
 - * 次期部長、主任研修会の充実について、
 - * JEF 献金のお願い、等を説明された。

2. 議案審議：

- ①第1回役員会議事録、②第19回東日本区大会(長野)決算と余剰金(55,122円)の扱い、③次期東日本区役員承認。④ヤングメンバー(39歳以下、47名対象)に対する東日本区大会登録費補助規則(半額補助)制定、⑤第20回東日本区大会(川越)登録費(ワイズ：16,000円、メネット：15,000円、ユース：8,000円)、⑥20周年記念編集委員会の選(委員長：北村文雄ワイズ)、⑦東日本区定款改訂委員会規則の一部改訂、⑧東京目黒クラブ解散、以上8議案について、上程の説明、審議を経て全て「承認」された。⑧の「東京目黒クラブ」の解散承認を受けて、村野 繁ワイズが東京世田谷クラブに転入会されるお考えを表明。(太田 記)

★ 第2回東新部評議会へ

11月12日(土)13:00~16:00 高尾の森わくわくビレッジに於いて開催

久しぶりに高尾駅に下りると、多くの人の流れに押されて南口に、北口のバス乗り場へ行かなければと、時間に余裕もあり大回りをして国道20号沿いを歩くと、銀杏並木の美しい黄葉を堪能することができた。



さて、評議会では細川剛東新部部長はお体の具合が悪く、伊丹一之直前部長が議事を進行。全6議案が承認され、特に第20回東新部大会において、ロールバック

マラリアに対し、多くの方々からの寄付が、135,770円、マラリア蚊帳170張り相当になるとのこと。

その後報告は、東日本区役員会及び東新部役員会報告、東新部会計中間報告、東日本区定款改定に関し説明、各事業主査、委員長、専任委員、部担当 YMCA 主事、各クラブ会長の報告がなされ、佐藤、大田、両監事より、資料等の準備が良くできたとの感想をいただき閉会に。太田、岩崎、寺門、小原が参加。(小原 記)

★ 会員協議会『ソシアスフォーラム』

ー共に語ろう東京 YMCA の未来をーに参加して

11/26 山手センター・参加者48名・(世田谷クラブ出席者・太田、小原、張替、峰さん達と寺門の5名) 礼拝後*一部<2016年度~2018年度 中期計画>について副総主事菅谷氏から中期計画策定委員会による15回もの検討が重ねられた13項目に及ぶ答申を受け、今後の東京 YMCA 運動の方向性等の熱意のこもった説明がありその後のグループ討議のなかで、60歳代超の会員が半数(49.4%)にも達する現在、高齢者問題についての何らかの方策が検討される必要があるのではないかとの意見があった。

昼食後*二部<ブランディング>につき総主事廣田氏・星野太郎タスクチームメンバーより、今、世界的に YMCA 運動の停滞が懸念される中で、日本 YMCA 同盟は、現状を分析し改善策を模索する取り組みとして、全国統一の『ブランディング』を目指す方針であることを表明された。



5 グループの皆さん

その後のグループデスクッションに於いて、YMCA 運動の賛同者増加を図る目的は理解できるが、YMCA の C の表すクリスチャニティーを守ることの役割は重要ではないかとの意見が出された。

この度の会員・スタッフ合同の意見交換は、YMCA の将来像を描く大きな実り多き協議会であったことに感謝している。(寺門 記)

★ 東京 YMCA 国際プログラム報告会・

クリスマス祝会」に参加して

師走に入った12/3(土)15:00から東陽町センターにて開催された祝会に、張替、小原ワイズと太田の3名(張替ワイズは演奏家として大活躍)が参加。

第一部 クリスマス礼拝

第二部 国際プログラム活動報告会

- ①フロストバレーキャンプ、②北京 Y パートナースhip 山中湖キャンプ、③にほんご学院留学生の日本での生活、

④ “チョトショブノ” によるバングラの子どもの教育支援、⑤アジア研修：ミャンマースタディー、の5つから3つを選んで全員テーブルに分かれ、話し合いをした。詳しく聞けて大変有意義でした。

第三部 クリスマス祝会



わが張替ワイズの仲間「ロス コンパニエロス」によるお馴染みのラテン音楽を聞かせていただき、全員聞き惚れて、ゆったりと心が和むひと時でした。

張替さん、有難う！ “Muchas Gracias！” (太田 記)

※ 1年ぶりのYMCA歌声広場

石巻復興住宅

小川メネットは、最後の石巻と決めて昨年10月に出かけました。クラブから小原さん竹本さんが同行して下さり、後の石巻広域クラブに連なる皆さんと交流しながらの歌声広場でした。その後、辛く哀しい時間を過しながら、YMCAすずらん会を継続する事を願い15回目の伴奏者に佐藤百合子さんが志願して下さったのです。



会場は昨年までと違い、今回は復興住宅の集会室でした。石巻広域クラブの皆さんと一緒に。メンバーとなった西村さんのお琴の演奏も色を添えて下さいました。音楽でのCS活動が継続出来た事を嬉しく思い、ささえて下さった皆さんに感謝します。(小川 記)

※ 3年目。キャロリング in 下北沢

今年もYMCAすずらん会の呼びかけで、下北沢駅前広場でスタートしました。



道行く外国人と小さな子どもたちからの反応があり、参加者も「手ごたえ」があった！と、また「1時間歌い

っぱなしで声が枯れちゃったわ」との感想。今年は「風」になって見守ってくれるメネットを想いながら、それなりに充実した達成感も感じる事ができました。あと2回の進めかたや、将来構想を楽しく描きつつ、安眠できた感謝のキャロリングでした。(小川 記)

※ 会長通信 1612

ある雑誌で、年齢を重ねるにつれて、一年が早くなるというような記事を目にしましたが最近特にそのような気がします。新しいメンバーを加えての活動、また改めて来年こそは、ワイズの活動を楽しく頑張っていこうと思います。

今後の卓話予告

- 1月 今村 讚ワイズによる「賀川豊彦先生について」
- 2月
- 3月 松井直樹ワイズによる「主要国での福祉介護」(仮)
(東京西クラブとの合同例会)

※今後のスケジュール

- 12/9 (金) すずらん会歌の広場、下北沢
- 12/3,10,17 下北沢キャロリング
- 12/14 (水) YMCA 3法人クリスマス祝会
- 12/16 (金) YMCA すずらん会 2時
役員会 4時
第1例会 6時半
- 12/23 (金、祝) YMCA オープンハウス、東陽町 Y
- 1/7 (土) 在京ワイズ新年会、山手センター、午後
午前：在京ワイズ会長会、山手
- 1/10 後期半年報まとめ
- 1/18 (水) ボラセン歌の広場、三茶
- 1/20 (金) 第1例会 村野 繁ワイズの転入会式
- 1/27 (金) YMCA すずらん会 第2例会

※ YMCA NEWS

9つの各都市YMCAから14名のスタッフが参加をした日本YMCA同盟STEP II研修も12月3日(土)の閉講式を持って無事に終了を致しました。私自身、75日間の研修の中では、各地域でともに働く同志を得られたことへの喜びと、また日常業務から離れ、自らのこれまでの働きを振り返るとともに、YMCAの運動についても俯瞰的に見ることが出来たことはとても良い時間を過ごさせて頂いたと感じております。

多くの方々のお支えによって、研修を受けさせて頂いたことに改めて感謝申し上げますと共に、今後もYMCAの働きにより一層、尽力していければと思います。

(山梨雄一担当主事)

<南センタースケジュール>

- 1月7日(土) 在京ワイズ会長会、新年会
- 1月8日(日) ASCA クラス講師会
- 1月21日, 22日 M3 幼児雪遊びキャンプ(妙高高原ロッジ)
- 1月29日(日) 冬キャンプ想い出会